



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 エクセル

上場取引所 東

コード番号 7591 URL <http://www.excelweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大滝 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理統轄兼グループ財務本部長 (氏名) 谷村 偉作

TEL 03-5733-8404

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	24,603	0.7	514	45.0	524	213.4	474	324.2
29年3月期第1四半期	24,774	45.3	354	73.6	167	86.5	111	88.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 759百万円 (320.1%) 29年3月期第1四半期 180百万円 (69.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	54.74	
29年3月期第1四半期	12.90	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	49,601	25,303	48.1	2,750.70
29年3月期	49,057	23,440	47.3	2,676.65

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,838百万円 29年3月期 23,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		17.00	34.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		20.00		25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	11.8	720	21.0	680	2.6	550	14.3	63.46
通期	110,000	11.4	1,800	2.2	1,600	10.5	1,300	22.0	150.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	9,086,755 株	29年3月期	9,086,755 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	420,467 株	29年3月期	420,467 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	8,666,288 株	29年3月期1Q	8,666,288 株

\* 四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のおわが国経済は、世界経済の回復に伴う輸出の持ち直しや、インバウンド需要の回復、消費マインドの持ち直し、耐久財のストック調整一服などを受けて、緩やかな回復基調が継続しております。

当社グループの属する電子部品業界においては、引き続きアジア新興国やアフリカでのスマートフォン市場の拡大が継続しておりますが、新興企業参入による競争激化や、製品勢力圏の急速な変化、大手メーカーを含めた経営再編の動きが続いております。

当社グループにおいては、第7次中期経営計画の初年度として、液晶ビジネス・電源ビジネスの拡大や新分野であるIoTビジネスの立上げ等を進め、業績のV字回復と拡大を目指して参ります。当第1四半期では、国内におけるアミューズメント向け液晶デバイスや海外における大型液晶デバイスの販売が増加したものの、スマートフォン向け中小型液晶や液晶モジュール等の販売減少の影響を受け、売上高は246億3百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

また、各品目別の概況は次のとおりであります。

- |            |  |
|------------|--|
| (液晶デバイス)   | 国内市場におけるアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加し、海外市場においてはテレビ用途向け大型液晶デバイスの販売が増加したことから、売上高は157億39百万円（前年同期比46.0%増）となりました。           |
| (半導体・集積回路) | 国内市場における半導体ビジネス等の販売は若干増加したものの、海外市場におけるスマートフォン、タブレット向けを中心とするドライバーIC等の販売が減少したことから、売上高は29億89百万円（前年同期比31.2%減）となりました。 |
| (電子部品・その他) | 国内市場におけるACアダプタ等の販売が堅調に推移したものの、海外市場における液晶モジュール用デバイス等の販売が減少したことから、売上高は58億73百万円（前年同期比39.1%減）となりました。                 |

利益面では、売上原価231億36百万円を控除した売上総利益は14億67百万円（前年同期比12.6%増）となり、人件費5億26百万円を中心とする販売費及び一般管理費は9億52百万円であり、結果営業利益は5億14百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

営業外収益及び費用では受取配当金24百万円、支払利息32百万円、為替差益8百万円等を計上した結果、経常利益段階では5億24百万円（前年同期比213.4%増）の利益となっております。

税金等調整前四半期純利益は5億24百万円となり、税金費用等を控除して当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は4億74百万円（前年同期比324.2%増）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本ではアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加し、ACアダプタ等の販売が堅調に推移したことにより売上高は50億66百万円（前年同期比42.0%増）となりました。アジアにおいては海外子会社によるテレビ用途向け大型液晶デバイスの販売が増加したものの、スマートフォンを中心とする中小型液晶や液晶モジュール用デバイス等の販売が減少し、売上高は190億73百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の連結総資産は、496億1百万円（前連結会計年度末比5億43百万円、1.1%の増加）となりました。

資産では、受取手形及び売掛金167億78百万円を中心とする流動資産が409億39百万円で、総資産の82.5%を占め、固定資産86億61百万円が残りの17.5%を占めています。

一方、負債合計242億97百万円（前連結会計年度末比13億18百万円、5.1%の減少）のうちでは支払手形及び買掛金99億49百万円、短期借入金100億12百万円がその主なものとなっております。

純資産の部では、純資産合計は253億3百万円（前連結会計年度末比18億62百万円、7.9%の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,228	12,692
受取手形及び売掛金	20,551	16,778
電子記録債権	2,077	2,405
商品及び製品	8,345	8,737
その他	497	325
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	40,699	40,939
固定資産		
有形固定資産	1,963	1,962
無形固定資産	21	24
投資その他の資産		
破産更生債権等	14,448	13,915
その他	6,393	6,695
貸倒引当金	△14,469	△13,936
投資その他の資産合計	6,372	6,674
固定資産合計	8,358	8,661
資産合計	49,057	49,601
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	9,949
短期借入金	9,820	10,012
未払法人税等	180	96
賞与引当金	126	83
役員賞与引当金	16	6
その他	3,349	2,576
流動負債合計	24,061	22,723
固定負債		
退職給付に係る負債	220	218
資産除去債務	6	6
その他	1,328	1,349
固定負債合計	1,555	1,574
負債合計	25,616	24,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,086	3,086
資本剰余金	3,120	3,120
利益剰余金	15,072	15,399
自己株式	△571	△571
株主資本合計	20,707	21,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,452	2,740
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	32	59
退職給付に係る調整累計額	3	3
その他の包括利益累計額合計	2,488	2,803
非支配株主持分	244	1,464
純資産合計	23,440	25,303
負債純資産合計	49,057	49,601

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	24,774	24,603
売上原価	23,472	23,136
売上総利益	1,302	1,467
販売費及び一般管理費	947	952
営業利益	354	514
営業外収益		
受取利息	13	4
受取配当金	23	24
負ののれん償却額	15	-
為替差益	-	8
その他	27	13
営業外収益合計	80	51
営業外費用		
支払利息	89	32
持分法による投資損失	-	6
為替差損	175	-
その他	2	2
営業外費用合計	267	41
経常利益	167	524
税金等調整前四半期純利益	167	524
法人税、住民税及び事業税	76	73
法人税等調整額	△22	△1
法人税等合計	53	71
四半期純利益	113	453
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	474

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	113	453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	287
繰延ヘッジ損益	34	△0
為替換算調整勘定	99	10
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	-	8
その他の包括利益合計	67	306
四半期包括利益	180	759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188	789
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△29



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

従来、振当処理の要件を満たす為替予約等については振当処理を適用していましたが、第1四半期連結会計期間から振当処理を行わず、原則的な処理方法、すなわち、期末に時価評価を行い、評価差額は損益として処理する方法に変更しました。

この変更は、為替リスクに対するヘッジ方針や為替予約等に対する管理体制の見直しを行ったことに伴い、ヘッジ会計適用の適正性を再検討したことによるものです。

なお、当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用していません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,568	21,205	24,774	—	24,774	—	24,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,051	228	1,279	—	1,279	△1,279	—
計	4,620	21,433	26,054	—	26,054	△1,279	24,774
セグメント利益又は損 失(△)	△64	423	359	△3	356	△1	354

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,066	19,073	24,139	463	24,603	-	24,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	732	236	969	-	969	△969	-
計	5,799	19,309	25,109	463	25,572	△969	24,603
セグメント利益	31	467	498	13	512	2	514

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。